

Intersections of  
Gender and Class  
in the Distribution of Income

所得格差におけるジェンダーと階級



ピケティの『21世紀の資本論』以来関心が高まる所得分配における階級格差の影響について、さらにジェンダーの視点を導入することにより、次の点を明らかにします — 女性の有給労働の増大は家計の所得格差を減少させるか。低賃金の女性労働の増大は賃金水準を低下させ利潤を増大させるか。最後に、ジェンダー不平等と階級不平等をいかにして減少させるかを論じます。

講師 **ダイアン エルソン** (エセックス大学名誉教授)

<略歴>

1946年イギリス生まれ。オックスフォード大学助教、ヨーク大学講師、サセックス大学講師、マンチェスター大学講師を経て、1995年マンチェスター大学教授に就任。2000年からエセックス大学社会学部教授。UNIFEM、UNWomen等の顧問を歴任。代表的なフェミニスト経済学者であり、経済発展論、人権、性差別に関しての多くの著作がある。2016年 Leontief Prize for Advancing the Frontiers of Economic Thought、2018年 JSPE Routledge 国際賞受賞。

パネリスト



上野 千鶴子  
(東京大学名誉教授)



伊藤 誠  
(東京大学名誉教授)



山根 純佳  
(実践女子大学准教授)



板井 広明  
(お茶の水女子大学特任講師)

日時  
2019年10月21日(月)  
15:00-18:00

会場  
武蔵大学 8号館 6階 8604 教室

■プログラム ※敬称略

15:00 - 15:10 開会のあいさつ

15:10 - 16:10 基調講演

"Intersections of Gender and Class in the Distribution of Income"  
講師/ダイアン エルソン Diane Elson  
(エセックス大学名誉教授)

16:20 - 17:50 パネルディスカッション

上野千鶴子 (東京大学名誉教授)

伊藤 誠 (東京大学名誉教授)

山根 純佳 (実践女子大学准教授)

板井 広明 (お茶の水女子大学特任講師)

17:50 - 18:00 閉会のあいさつ

■使用言語：英語

■担当：横川 信治 (本学経済学部教授)

■お申込・お問合せ：

武蔵大学総合研究所 HP 専用フォームから

武蔵大学国際シンポジウム

